

の森アート

宇都宮美術館
友の会エクス

第21号 2018.8



松本哲男 《文明 オーストラリア アボリジニはどこに》 2007 (平成19) 年 顔料、紙 239.0×600.4cm

大画面に自然を緻密に描き、独自の日本画を生み出した松本哲男。松本は晩年、古代文明からモチーフを得た作品を残しています。本作品では、広大な風景の上に、カンガルー、魚、鳥などが動き回るかのように描かれています。そして、ひときわ目をひくのは彼の家族がつけた (!) という手形です。自然を写實的に描いた作家がみせた意外な表現。だからこそ、そこに私は作家が込めた表現の喜びを強く感じます。みなさんも、11月23日 (金・祝) からの企画展で、注目してみたいかがでしょうか。
(学芸員 小堀修司)

平成30年度定期総会

5月20日

雪が積もったようなやまぼうしの白い花咲く5月20日、宇都宮美術館講義室に於いて友の会定期総会を開催致しました。青木会長の開会挨拶に続き、佐々木館長の来賓挨拶をいただき、議案審議に入りました。

議事 平成29年度事業報告・決算報告、平成30年度事業計画・事業予算が審議され承認されました。

その後館長の記念講演があり、人間的なぬくもりのある表現のポスター「サヴィニャック展」20世紀を代表する作家「ルオー展」本館初めての写真展「篠山紀信展」宇都宮にとって重要な作家「松本哲男展」そして「宇都宮美術の現在展」と本年度の魅力的な企画展の紹介がありました。期待感が高まり、待ち遠しくなりました。その後「栗田智水 with Family Friends コンサート」が催されました。フルート・エレクトーンのしなやかな音とパワフルなボーカルユニットの歌声が響き渡り、大きな拍手の中いつしか会場が一つのファミリーになりました。
(木村啓子)



平成30年度事業計画

実施月日	事業内容	担当部
平成30年		
5月 5日	子どもフェスタin文化の森2018	共 催
5月20日	平成30年度定期総会	総務部
6月24日	館長講座	発見部
7月11日	春の美術館めぐり(日帰り)	事業部
8月 3日	会報「アート」の森」第21号発行	広報部
9月	U-moaコンサート	総務部
秋頃	作家紹介(友の会ボード)	発見部
11月	秋の美術館めぐり(一泊旅行)	事業部
12月	クリスマスの夕べ	事業部
平成31年		
2月	賛助法人懇談会	総務部
3月	会報「アート」の森」第22号発行	広報部

会 長：青木紀一郎
 副 会 長：甘利知子 渡辺勝己 青木ひろこ
 監 事：菅野明子 野澤 寛
 総務部長：松林慎二 副部長：河合 正
 事業部長：石塚 豊 副部長：渡邊行男 鈴木久子
 広報部長：平出晴夫 副部長：加藤真美 木村啓子
 発見部長：渡辺 卓 副部長：小林純子

子どもフェスタin文化の森2018

5月5日

宇都宮美術館・宇都宮美術館友の会・豊かな郷づくり推進協議会

さわやかな五月晴れの下、こだまの森の和太鼓演奏で子どもフェスタがオープン。ブラスバンドがひびきわたる草の広場では、おえかきやバルーンでの創作、お話の会なども。ミニこいのぼりを片手に、植物・昆虫を探しに森の中への散歩にと。



軽快なリズムのフラダンスに加え今回、ダンスユニット「BRes」が初参加。4グループのダンスパフォーマンスを披露。キラキラと目を輝かせ、いっぱい遊んだ後は手作りごちそうが並んだ「ぱくぱく・ごっくんの森」で空腹を満たしました。

数千人の家族連れでにぎわった広場。

青空からは「サシバ」が、森の奥から顔を出した「野うさぎ」までも子供達の楽しそうなにぎわいを見守っていたかのようでした。
(小林和子)



鉄線 (てっせん)
目木 (めぎ)

学芸員室から

パナソニック 汐留ミュージアム コレクション ジョルジュ・ルオー展

「信仰は暗夜であり、にもかかわらず、それは闇の中の魂を明るく照らすのだ。」

(十字架の聖ヨハネ『カルメル山登攀』第2篇第3章より)

パナソニック 汐留ミュージアムの素晴らしい作品たちを迎え、ジョルジュ・ルオー展を開催しています。ルオーといえば重ねられた色彩が思い浮かびますが、本展をご覧になって彼の「黒」に興味をひかれたという方もいたのではないのでしょうか。初期の激しい黒の線に始まり、踊るような人体を描くしなやかな黒の曲線、黒の単色刷り版画集など、特徴的な黒の表現が生涯にわたって見られます。

黒の持つ力が最も印象的に表れた作品のひとつが、本展でも展示中の版画集『ミセレーレ』でしょう。その重々しさに、鑑賞するのが辛いと感じた方もいたかもしれません。父の死や戦争といった重大事に直面したルオーは、彼を包む「暗夜」を写し取るかのように、本作に切実な苦しみと祈りを込めたように思います。

その後、ルオーの色彩は鮮やかさを増し、晩年の作品は輝きと



ジョルジュ・ルオー《秋の夜景》1952年 パナソニック 汐留ミュージアム蔵

幸福感に満ちています。もはや、あの暗闇は消え去ってしまったのでしょうか。

晩年の名作《秋の夜景》を見てみましょう。キリストのような人物が母子と語り、「夜」の場面でありながら、柔らかな光がにじみ出ています。しかしよく見ると、画面全体は深い青あるいは黒に包まれていて、光はその「闇」の中から、同じく「闇」をまとった人物たちへと降り注ぎます。神は世俗に交じり、黒は線であると同時に色彩となり、闇は光を放つ——愛に包まれた世界の中で、相反するものたちがもはや何の矛盾もなく見事に調和しているのです。

(学芸員 藤原 啓)

新学芸員へ七つの質問

- ①出身地
- ②得意分野（最近かかわった企画展は?）
- ③宇都宮美術館とのかかわり、なれそめ
- ④休日の過ごし方
- ⑤趣味、特技
- ⑥好きな作家、作品
- ⑦来館者の皆様へ



山本 真弓
①那須塩原市
②19~20世紀フランス美術。博士課程進学後は、装飾芸術を専門として研究していました。

- ③親元を離れてからは、帰省のたびに遊びに来ていました。
- ④ドライブ（おいしいお店巡り、美術館巡り）、音楽鑑賞。
- ⑤Illustrator、Photoshopでお絵かき。
- ⑥宮梁め、大谷石の建築、地域ゆかりの作家など…地域に根ざした美術館にいるからこそ出会えるヒト・モノに関心があります。
- ⑦遠くからご来館ありがとうございます。日常を忘れてお寛ぎ下さいませ。作品との素敵な出会いがありますように！



渡邊 瑛子
①茨城県
②工芸史。専門は日本及び東洋の染織品です。

- ③大学院修了と同時に宇都宮美術館への採用が決まりました。2018年4月から働いています。
- ④本を読んだり、音楽を聴いたりしています。自宅でのんびりしていることが多いです。
- ⑤中学生までバレエを習っていたのですが、今は踊るよりも観る方に専念しています。イギリスへ行って、ロイヤル・バレエ団の公演を現地でご観みたいです。
- ⑥たくさんあるので、選ぶことが難しいです。最近行った展覧会で観たルイジ・ロワールの作品が印象に残っています。
- ⑦展覧会と森の四季の移り変わりを楽しみながら、宇都宮美術館で素敵な時間を過ごしていただけたらと思います。

来館者の声

アンケートBOXから

美術館そのものが絵画のようで素敵だと感じました。窓から見える緑がそのまま芸術的であり、季節が変わる度に訪れてみたいと感じさせる構造になっていると感じました。サヴィニャック、目にしたことはあっても意識的に拝見したのは初めてで、素晴らしいと感じました。地下鉄で目にしたなら、一発でくぎ付けになるだろうと感じました。地下鉄の写真もあり、わかりやすく、良い展示であったと思います。ありがとうございました。

原画とポスター、ポスターが貼られている街角の写真が並べて展示されていて、大きな絵が何枚も並べて見られると印象も増幅されそうだなあと想像できて、ポスターならではの感覚まで伝わってくるようでした。としまえんのとかりアルタイムで目にしていたはずのものもあり、色彩や動物のユーモアあふれる表情等、見ていて心が明るくはずんでくるようでした。すごく楽しめました。ありがとうございました！

企画展のご案内

- ☆ パナソニック汐留ミュージアムコレクション
ジョルジュ・ルオー展 7月1日(日)~8月26日(日)
- ☆ 篠山紀信展 写真力 9月16日(日)~11月4日(日)
- ☆ 松本哲男 地球画譜(仮称) 11月23日(金・祝)~12月28日(金)
- ☆ 第5回宇都宮美術の現在展 2019年2月3日(日)~4月1日(月)

待望のオープン！宇都宮美術館ミュージアムショップ

探しものは何ですか？お気に入りは見つかりましたか？4月28日、宇都宮美術館に待望のミュージアムショップがオープン。「サヴィニャック展」のお土産を探す人、地元作家の作品を探す人など、5ヶ月ぶりのショップは、楽しそうなお客様で賑わっていました。嬉しいオープンを迎えて、責任者の長澤紀行さんは、「この他にも小さいお子さん達の美術教育の商品や家族連れが楽しめるワークショップなどの企画、何よりたくさんのお客様に驚きや発見、感動をしていただけるようなショップを目指したいです。」と熱く話してくれました。美術館は今、「ルオー展」を開催中。その後は「篠山紀信展」と続きます。ショップのこれからに期待とエールを送ります。

(阿部エツ子)



松本仙翁 (まつもとせんろう)
かたばみ草

新春のつどい

1月26日

山本周五郎の「初蕾」朗読会

友の会主催の「新春のつどい」が1月26日（金）に宇都宮美術館のレストラン「ジョウ・デ・サンス」で開催され、約60名が参加されました。今回はジャズベースと朗読のコラボ。青木ひろこさん（朗読）、野中英士さん（ベース）のお二人で山本周五郎の「初蕾」を披露していただきました。薄幸な女性お民と若き武士半之助との身分違いの恋物語が舞台劇のようで、ベースのひびきがより深く感じさせてくれました。朗読会は60分程、その後ビュッフェスタイルのお食事をいただきました。美味しい食事と「朗読と音楽の贈り物」、新春の晴れやかな時期に楽しいひと時を過ごすことができました。（石塚 豊）



賛助法人会員との懇談会

2月14日

友の会活動に対する賛助法人会員と個人会員の間での参加意義には、幾分かの違いが有る様です。賛助法人会員9社11名の方々と佐々木館長、友の会役員の見意見交換は一層の充実を目指す友の会活動を支えてくれています。

(渡辺勝己)

賛助法人会員

(株)西邑画廊 (株)健康太郎の家 三信電工(株) (株)田村緑苑
(株)酒井建築設計事務所 中央電機通信(株) 環境整備(株) 栃木実業(株)
栃の木地所(株) 晋豊建設(株) 明世産業株式会社 (株)オオミヤ 東亜警備保障(株)
(株)穴吹工務店宇都宮サーパス会 (株)栃木銀行 (株)興建 (株)スズテック
(株)井上総合印刷 (株)ケイエムシー (株)テックス (医)北斗会 宇都宮東病院
栃木トヨタ自動車(株) (学)宇都宮美術学院 宇都宮メディア・アーツ専門学校
イートランド(株) 宮ビルサービス(株) ランスタッド(株)宇都宮オフィス

(入会順)

会員加入状況

2018年6月27日現在 単位：人

一般会員	ペア会員	賛助個人会員	賛助法人会員	合計
229	160	22	27(口)	438

編集ノート

6月、美術館周辺の林が一層色濃くなって来ました。友の会に入会して10年以上、窓から広がる大パノラマはいつも感動させてくれます。そしてショップが新装開店。店長さんの意気込みもうれしいし、また以前と違う商品も並んでいて見るだけでも楽しい。沢山の来館者を願いつつ21号の編集を楽しみました。（萩原絢子）

<アートノ森> 第21号 (通巻44号)

発行日 2018年8月3日
発行 宇都宮美術館友の会 (宇都宮美術館内)
〒320-0004 宇都宮市長岡町1077
☎028-643-0100